

# 中川正春の永田町かわら版

2005/10/18 第242号

【編集元】民主党三重第2区総支部 衆議院議員中川正春事務所

E-mail: g03063@shugiin.go.jp

三重／〒513-0013 鈴鹿市国分町453-7 TEL:0593-73-3933/FAX:0593-74-3088

東京／〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館428号室 TEL:03-3508-7128/FAX:03-3508-3428

## ○選挙の結果が身にしみます。

### しっかり反省して挑戦を

郵政民営化の政府案が衆議院で200票の差をつけて可決されました。

特別委員会の議論では、「民営化」という言葉の意味が違う事が、民主党案との比較をすることで浮き彫りになったと思います。郵便貯金や簡保を政府子会社の株式会社でさらに大きくしていこうとするのが小泉「民営化」。民主党案では、郵貯や簡保は、廃止をして民間へ資金を流そう。逆に、郵便事業や過疎地での金融決済は、国の責任でサービスを維持しようとしています。このような対案を出して、分かりやすい議論を解散前に国会でやればよかった。でも、今さら後悔してもダメですね。これからの挑戦に活かしていきます。小泉チルドレンが嬉々として議場で投票に向かう姿に、つくづく悔しい思いをしています。

## ○国会の「つるしを降ろす」

### イラク自衛隊撤退法案の戦い

永田町の言葉で、「つるし」ということがあります。政府や議員から国会に提出された法案をすぐに審議せずに、そのままにしておくことを言います。どの法案を本会議にかけ、どの法案を本会議を省略して直接関係する委員会にかけるかは、私の所属する議院運営委員会で与野党交渉の上決めます。各委員会に総理大臣の出席を求めるかどうかもここで決まります。それぞれの委員会の議題に付すことを「つるしを降ろす」と言います。

郵政の民営化では、政府案に対して民主党案もつるしを降ろされて議論ができました。今、問題になっているのは、民主党が提出している「イラクからの自衛隊撤退法案」です。このつるしを解いて委員会の議題とするように、私は強く与党に要求しています。アフガニスタンの関連でインド洋上での自衛隊の給油活動の延長を求める「テロ特措法」の審議と同時にやるべきだと言っているのです。イラク

の自衛隊支援活動も12月には期限が切れ、このままでは、国会の休会中に政府が勝手に延長する可能性があります。だからこの国会開会中に議論すべきだ、と民主党が「イラクからの撤退法案」を出しました。与党はテロ特措法と一緒に議論することをかたくなに拒みました。推測できる理由はふたつ。一つは、イギリスやオーストラリアなども撤退のタイミングを模索している中で、国会議論で野党に小泉さんの自衛隊派遣の間違いを改めて指摘されたくない。今、撤退の時期を決めるようなシナリオは避けたいという思い。二つ目は神奈川の参議院補欠選挙で自民党から出ている川口順子前外務大臣の失敗を国会で改めて指摘されるリスクを避けたいということ。

あっちやこっちから攻めた挙句、やっとのことで与党が譲歩した結果は、今月23日の補欠選挙が終わった後の25日、本会議は避けて特別委員会に直接法案を降ろすことになりました。なるべく目立たないように議論する場をしぶしぶ認めたということです。国会での議論ひとつにこれだけの駆け引きが必要だとは、これから先が思いやられます。

## ○地元の町々は、元気じるし

最近の土曜、日曜は秋空のもとすがすがしい空気を地元で満喫しています。各地の運動会で出会ういっぱい笑顔。神社の秋の大祭のみこし、コスモス祭りやお月見などとともに、益々元気の出てくる楠や長太(ナゴ)の「くじら舟」。一つのところにゆっくりと落ち着いて楽しんでいられないのが残念ですが、それでも地域の文化や歴史に対する皆の愛情と誇りを汲み取ることができます。

こうした町の元気を作り出している地域のリーダーの人たちの苦勞に報いるためにも「コミュニティー事業への寄付金の税額控除」を盛り込んだ中川の議員立法「地域コミュニティー自立支援法」を成立させたいとつくづく思います。

先週末には妻は宮川での植樹イベントに参加。私は8つの運動会やお祭りイベントをはしごしました。貴重な夫婦の団欒など夢のまた夢。夜は、バタン、キューーです。